

2018年12月10日

群発頭痛の在宅酸素療法（HOT）ガイドラインについて

群発頭痛の急性期治療としてスマトリプタン皮下注と並んで高いエビデンスが示されている酸素療法の保険適用承認を日本頭痛学会、日本神経学会、日本神経治療学会から要望しておりましたが、平成30年度診療報酬改訂で認められました。すでに多くの群発頭痛患者から、喜びの声が届いています。HOT療法を必要とする多くの群発頭痛患者に本治療へのアクセスを可能にし、これまで群発頭痛のHOTの経験が少ない頭痛診療医のHOT療法実施の手順などを解説するため、日本頭痛学会診療向上委員会とガイドライン作成委員会が共同してガイドラインを作成しました。菊井祥二委員、伊藤康男委員、五十嵐久佳委員、清水利彦委員、柴田護委員が中心となって起草し、両委員会での吟味、brush-up作業をへて下記2項目のガイドラインが完成しました。

CQ1 群発頭痛の急性期治療に酸素は有効か。

CQ2 群発頭痛の在宅酸素療法はどのように実施するか

さらに指示書と在宅酸素療法を解説した既存のパンフレット・資料（群発頭痛適応承認前）で有用と思われるもののリンクを合わせて掲載することにしました。

群発頭痛治療を含めたパンフレットの作成も検討しています。

群発頭痛患者を診療する多くの医師・医療従事者に「群発頭痛の在宅酸素療法（HOT）ガイドライン」をご活用いただき、群発頭痛患者の福音となることを期待しています。

日本頭痛学会

診療向上委員長	竹島多賀夫
ガイドライン委員長	荒木信夫
代表理事	平田幸一